

氏名	深澤 厚輔
学位の種類	博士 (医学)
学位記番号	甲第471号
学位授与年月日	平成29年3月3日
審査委員	主査 教授 田島 義証
	副査 教授 杉本 利嗣
	副査 臨床教授 藤代 浩史

論文審査の結果の要旨

胃食道逆流症 (GERD) 診療ガイドラインでは、プロトンポンプ阻害剤を用いた治療に抵抗するGERDに対して消化管運動機能改善薬を投薬することが推奨されている。ところが消化管運動機能改善薬の有効性に関する十分な臨床的エビデンスも食道の生理機能に対する影響についての検討もない。モサプリドはセロトニン受容体刺激作用を有する消化管運動機能改善薬であり、食道の運動能に影響を及ぼす可能性がある。申請者は消化管の運動能の評価に用いられてきた収縮力を評価するための内圧モニタリング検査に加え、食道壁のコンプライアンスを評価できる新しい手法を用いて、高用量のモサプリドが食道運動機能にどのような効果を有するかを、健常人ボランティア9名を対象に検討した。その結果、モサプリドの投薬は食道体部の蠕動運動の収縮力を高め、特に下部食道においてその効果が大きかった。さらにモサプリドは食道胃移行部の下部食道括約筋静止収縮圧を上昇させた。食道胃移行部のコンプライアンスはモサプリドの投薬後に低下し、伸展性が低下することが明らかとなった。本研究は、消化管運動機能改善薬であるモサプリドが食道体部の蠕動運動を亢進させ、食道胃移行部の収縮能を高め、さらにその伸展性を低下させることで、胃食道逆流の防止と逆流胃液のクリアランスに有用な作用を有することを明らかにした。以上より、本研究の成果は臨床応用への可能性を示すもので、学位授与に値すると判断した。